

Apr.2026 No.235

# Campus

学長って、  
どんな人？

学長インタビュー特集



全代会って、  
なんだろう？

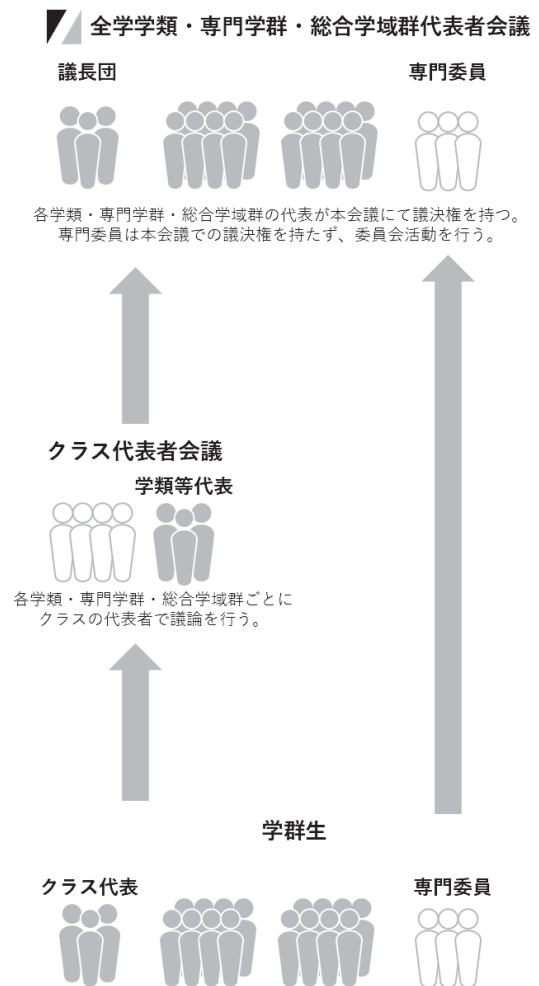
全代会構成員・議長団特集



筑波大学に「全代会」、正式名称「全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議」という組織があることをご存知だろうか？

全代会は各学類・専門学群・総合学域群の代表者3人、および委員会活動のみを行う専門委員からなる学生組織だ。全代会は学内の教育・福利厚生・学内行事・大学運営など多岐にわたる問題を扱う。また、全代会は現在六つの常任委員会と四つの特別委員会からなっている。常任委員会には総務委員会、学内行事委員会、教育環境委員会、生活環境委員会、調査委員会、広報委員会がある。特別委員会は常任委員会では対処しきれない問題に対して設置される委員会であり、現在は情報処理推進特別委員会、新入生歓迎特別委員会、国際特別委員会、学際サイエンス・デザイン専門学群特別委員会が活動を行っている。

それでは、全代会の全貌を見ていこう。



# 大学に**意見**が届くまで

## 学生の意見が全代会へ

「教育生活環境調査」という学生の意見や要望を集めるための調査がある。この調査は通年で行われており、全代会HPに調査フォームが設置されている。

## (意見に対する) 実情の調査、 解決に向けた検討

学生から寄せられた意見は、教職の履修カルテに関しては教育環境委員会、学内の危険箇所に関しては生活環境委員会といったようにその内容に合った全代会内部の委員会によって詳細に調査・検討される。

## 副学長・学生生活課に 伝えられる

本会議の審議で可決・承認された議案は学生生活課や副学長に伝えられる。また、週に1回、教職員とのミーティングも設けており、学生の生の声が教職員へと伝えられている。

## 本会議において 審議され、議決される

各委員会で検討が進み、議案として提出されると、本会議にて審議にかけられる。本会議については、活動報告や全代会HPにも詳しく書かれている。ぜひ見ていただきたい。

# 01 議長挨拶

令和7年度全代会議長を務めました、工学システム学類3年の吉川椋です。筑波大へようこそ。全代会は、皆さんの「もつとこいうなればいいのに」という思いを形にする組織です。令和7年度も、私たちは学生生活の質の向上を目指し、精力的に活動してきました。昨今は、大学による決定事項の周知プロセスの透明化や、教育環境の整備など、学生を取り巻く環境において改善が求められる項目は多岐にわたります。私たちは、これらの問題に対して単に意見を述べるだけでなく、大学当局との対話を重ね、建設的な解決策を模索して

います。活動の幅は委員会ごとに異なり、広報や行事運営、国際交流など、自分の興味に合わせた貢献が可能です。私自身、議長として多くの学生や教職員と関わる中で、筑波大の多様性と可能性を肌で感じてきました。このキャンパスで過ごす時間が、皆さんにとって豊かなものになるよう、全代会は常に皆さんの側にあります。変化を恐れず、より良い環境づくりに挑むことが、全代会の使命です。もし不便を感じる다면、あれば、迷わず私たちを頼ってください。共に大学を変えていきたいという熱意ある仲間を待っています。さあ、大学の未来を共に。

# 02 委員会紹介

常任委員会は通年で全学的な基盤を支え、特別委員会は特定の課題や期間（新入生歓迎活動や国際交流など）に対応するために設置される。どちらも学生の声を反映させる点は共通しており、互いに連携を図りつつ活動を行っている。

## 教育生活環境調査

学生の生の声を集める調査である。寄せられた意見は要望書作成において、貴重な根拠資料として活用する。



<https://forms.office.com/r/8VsXLN4KCW>

## 全代会ホームページ

活動報告や委員会の詳細、イベント情報を掲載。全代会の「今」を知るための情報媒体である。



<https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/>

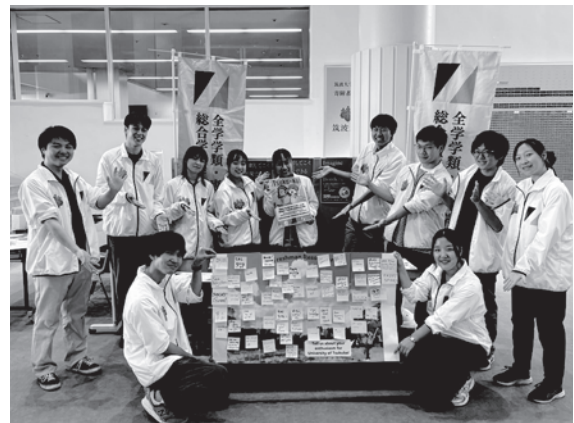
## 各委員会での活動

活動は原則週1回（新入生歓迎特別委員会、学際サイエンス・デザイン専門学群特別委員会を除く）。委員会ごとに目標を掲げ、学生生活の向上に向けた具体的な議論を重ねている。



## 委員会主導イベント (Tsuku・Koi)

国際特別委員会が主導する留学生向け秋季新入生歓迎活動「Tsuku・Koi2025」。秋季入学時に開催され、学生団体によるブースやパフォーマンスを通じて、多様な背景を持つ学生同士の交流が行われる、主要な行事の一つだ。



# 03 委員長挨拶



## 総務委員会

総務委員会は、本会議の準備や議事録作成、物品・会計・名簿管理、IT環境整備などを担当し、全代会を裏から支えています。質問や雑談をしやすく、だれでもかかわりやすい委員会を目指していきます！みなさんと一緒に活動できることを楽しみにしています！  
令和8年度総務委員会委員長  
櫻田翔（情報科学学類1年）

「豊かな学びが、未来を拓く。」

教育環境委員会は、通年で行っている「教育環境生活調査」や授業評価メディア『BRIDGE』の発刊を通じ、教育環境の向上に努めています。他学類について知りたい方、活動に興味がある方、大歓迎です！皆さんと一緒により充実した教育環境の実現に貢献できることを楽しみにしています！

令和8年度教育環境委員会委員長  
廣田千恵（芸術専門学群1年）



## 教育環境委員会

調査委員会では、よりよい大学環境を実現すべく、学生の声を受けて大学の現状を調査しています。大学生生活を過ごすなかで疑問・不安を感じたら、ぜひ教育生活環境調査へご回答ください。きっと力になります！  
令和8年度調査委員会委員長  
豊田春琉（教育学類1年）



## 調査委員会

“Shaping the Future together”

国際特別委員会は、秋新歓イベント「Tsuku・Koi」の開催や情報誌『Guide to CAMPUS LIFE』の発行による留学生の支援や国際交流の促進に取り組んでいます。他委員会との兼任も可能です！「国際的なイベントを運営したい」「留学生を支えたい」という熱意のある方はぜひお越しください！

令和8年度国際特別委員会委員長  
廣田千恵（芸術専門学群1年）

## 国際特別委員会



## 新入生歓迎特別委員会



新入生のみなさま、ご入学おめでとうございます！新入生歓迎特別委員会は、宿舎入居支援や各学類等の新歓オリエンテーションのサポートなどを通して、新歓する側・される側の両方を手助けする委員会です。新入生、学類等の新歓組織のお手伝いをしたい方をお待ちしております！

令和7年度新入生歓迎特別委員会委員長  
松本明香里（応用理工学類2年）



## 学内行事委員会

この委員会を一言で表すと「裏方の裏方」。主な業務は書類の確認作業や各種会議への出席などを行います。さまざまな組織と関わってみたい人や書類を見るのが好きな人、行事を支えたい人はぜひ。  
学内行事委員会で待ってます！！  
令和8年度学内行事委員会委員長  
喜多智紀（物理学類1年）

生活環境委員会は、日々の学生の生活に関わる仕事をしています。教育生活環境調査に寄せられた意見をもとに、宿舎や福利厚生に関する問題を調査し、改善しています。大学をより楽しく、居心地のよい場所にするための仕事をしています。  
令和8年度生活環境委員会委員長  
三浦蒼大（人文学類1年）



## 生活環境委員会



## 広報委員会

全代会広報委員会は広報誌『Campus』やSNSを通じ活動報告や有益な情報を発信しています。2026年度はオンライン体制の整備とSNS強化により、学生との距離を縮め愛着の持てる組織づくりを推進します。  
令和8年度広報委員会委員長  
近藤哲弘（社会工学類1年）

## 学際サイエンス・デザイン 専門学群特別委員会

学際サイエンス・デザイン専門学群特別委員会は、同学群と全代会の将来的な連携を検討する組織です。定期的な会議や学内の問題解決に向けた討論を行います。  
令和7年度学際サイエンス・デザイン専門学群特別委員会委員長 吉田龍生  
(学際サイエンスデザイン専門学群2年)



## 情報処理推進特別委員会



情報処理推進特別委員会は、情報技術で筑波大学をより便利にするを旨とする全代会の特別委員会です。新歓情報をまとめたサイトの開発運営やIT会の開催、Webサーバ管理などを展開しています。初心者から経験者まで、技術を育み、培い、実践の中で深めていきたい方を幅広く歓迎します。  
令和7年度情報処理推進特別委員会委員長 酒井慎之助（情報科学類2年）  
※所属、学年は令和7年3月現在

# 学長インタビュー



筑波大学学長

永田 恭介

## 企画主旨

本企画では、学生にとって普段少し遠い存在である学長を「親しみある存在」として紹介したいと思い、学長に直接インタビューを行った。また、新入生が入学する時期に合わせて発行される本誌において、これから大学生活を始める新入生へ向けて、メッセージやアドバイスをいただいた。

# 01 学長のお人柄

—— 大学内でお気に入り  
の場所はどこですか。

一つは「石の広場」ですね。  
360度見渡せるあの開放感  
が素晴らしく、第二・第三エ  
リアを一望できるだけでなく、  
少し歩けば学生会館の方へも  
抜けられる。あの視界の広さ  
が気に入っています。もう一  
つは、「松美池」の周辺です。  
あそこは非常に気持ちが良い  
て好きな場所ですね。ちなみ  
に雙峰祭では、学生たちの出  
し物を食べ歩いたり、似顔絵  
を描いてもらったりするのが  
楽しみで、あの辺りを何度も  
往復しているんですよ。

—— お好きな食べ物、お  
気に入りのお食メニューは  
どこですか。

好きな食べ物は、何といっ  
ても「餃子とビール」です。  
私の知り合いなら皆さんが  
知っているほどの大好物です  
ね。学食のお気に入りには、2B  
棟1階にあるカフェマルハバ  
ンです。どのメニューも本当  
にクオリティが高くて、ハラ  
ルフードでありながら誰が食  
べてもおいしいと感じる、す  
ごいお店だと思います。



—— 現在のご趣味や、個  
人的にこれから挑戦したい  
ことについてお聞かせいた  
だければ幸いです。

趣味はサッカーです。これ  
も餃子と同じく有名かもしれ  
ませんが、観るのもプレーす  
るのも大好きです。かつて、  
建て替え前の旧国立競技場を  
借り切って、45歳以上のサッ  
カー好きの教授や研究者を集  
めて試合をしたことがあるの  
ですが、あれは本当に楽しかつ  
た。ぜひまたやりたいですね。



# 02 学長の学生時代

—— どのような学生生活を送られていましたか。

一言で言えば「好き放題」に過ごしていました。私が1年生の頃は学生運動が非常に盛んな時期で、実は授業がほとんどなかったんです。試験範囲だけが伝えられてテストだけはある、という状況でした。当時は友人たちとクラス討論会で熱く議論を交わし、誰もがデモに参加していました。

授業がない代わりに、専門外のゼミにも自由に顔を出していました。私は理系でしたが、そうして研究室を渡り歩くうちに、『源氏物語』に詳しくなったりもしました。「あの研究室が面白い」という情報が友人から次々と入ってくるのが面白

かったですね。3年生から博士課程を修了するまでは実験漬けの毎日でしたが、基本的には自学自習のスタイルでした。

アルバイトは予備校の講師をしていましたが、夏休みは専任講師が授業を受け持つため仕事がなくなるんです。するとまとまった時間が生まれるので、海外に足を運びました。友人の紹介でエールフランスの格安チケットを手にいれ、たしか数万円でタヒチへ行っただけです。また山登りも好きで、修士2年の時には黒部の上ノ廊下から双六岳まで一週間かけて縦走したのも良い思い出です。

—— 大学生活を振り返って、「やってよかった」こと、逆に「やっておけばよかった」と思うことはございますか。

やってよかったのは、確かにしかならない挑戦……：かダム建設現場での「山の測量バイト」です。様々なバックグラウンドを持つ人たちがそれぞれの専門を活かして一つの大きなプロジェクトを進めていく光景が印象に残っています。現場は本当に楽しくて、作業員宿舎で毎晩のように皆でどんちゃん騒ぎをしたのは忘れられない経験ですね。

やっておけばよかったというか、大学生としての時間をもっと長ければよかったということは強く感じています。大学で過ごす時間は本当に楽しいものです。だからこそ、もう一年くらい棒に振ってでも、若い

ちにしかできない挑戦……：例えば、インドからロンドンまでバスで旅をするといった経験をしておけばよかった。今は立場上、長期で休むことは難しいですが、皆さんにはぜひ、学業にプラスアルファの経験を詰め込んでほしいですね。





## 03 筑波大生へのメッセージ

——学長が考える「筑波大学の魅力・いいところ」とはどのような点でしょうか。

「総合大学」であることです。他の大学にはないほどのあらゆる分野の知が集まっており、しかもそれぞれの先生方が研究室をオープンにしています。知識を持たなかったり、話が分からなかったりするからといって関わることをためらう必要はないんです。相手を尊重する姿勢を持ち、思い切った門を叩けば受け入れてもらえます。この「開かれた大学」という環境を活かし、自分の専門に捉われず、興味のあることは何でも学んでほしいと思います。

**新入生に対して、どのようなことを期待されていますか。**

学生生活では、より大きな目標を持ってください。自分のやりたいことのために、のびのびと、そして好きなことに徹底的に没頭してほしい。それは学問だけでなく、スポーツでも芸術でも構いません。大学生活での経験が、その後の人生を決めるといつても過言ではないからです。

これまでは「〇〇市の〇〇高校の生徒」という枠組みだったかもしれませんが、筑波大学の地元は「つくば市と世界」です。自分が日本の学生であることを意識した上で、筑波大学のためだけではなく、日本ひいては世界の大学で学び働く人々のために行動してほしいと思っています。ここは「誰にでもできる」という以上のことが実現できる場所ですから。また一人で海外へ出れば、あなたは「日本」あるいは「筑波大学」という看板を背負うことになります。その自覚を持って、世界へと羽ばたいていくことを期待しています。

# 全代会活動報告

## 第1回本会議

日時：令和7年5月7日(水) 18時30分  
出欠：出席63人

### 議題1：『議長団選挙(議長選挙)』

令和7年度の議長を選出する選挙が執り行われ、吉川 柊(工学システム学類3年)が立候補した。同候補は委員会活動の属人化解消や本会議改革、学際サイエンス・デザイン専門学群(以下、マレーシア校)との連携による国際化推進の3点を公約として掲げた。信任投票の結果、過半数の支持を得て議長として選出された。

【結果】信任 62、不信任 2、無効 1、棄権 0  
信任多数で可決された。

### 議題2：『議長団選挙(副議長選挙)』

副議長候補者3人による演説および質疑応答が行われ、各候補が委員会間の連携強化や知名度向上、学生の意見反映の効率化などを主張した。しかし、審議時間の不足により、本会議内での投票は実施されず休会扱いとなった。

【結果】採決未実施 休会とされた。

## 第1回本会議(第2日程)

日時：令和7年5月14日(水) 18時30分  
出欠：出席59人

### 議題：『議長団選挙(副議長選挙)』

5月7日から休会となっていた副議長選挙が再開された。候補者3人に対し、タスク管理や他委員会との連携、クラス連絡会との協力体制について質疑が行われた。投票の結果、坂入 快と松本明香里が選出され、新議長団が確定した。

【結果】坂入49票、松本48票、桑原20票 坂入 快、松本明香里の2人が選出された。

## 第2回本会議

日時：令和7年5月14日(水) 18時30分  
出欠：出席59人

議題：『学長決定「筑波大学の学生組織等について」の改正について』

全代会の基幹規則において、学類等の定義にマレーシア校を加えること、および座長・副座長制を廃止し議長・副議長へ呼称を一本化する改正案が審議された。質疑では時差や言語の壁への配慮、本会議の定数確保に関する懸念が議論された。採決の結果、賛成・反対ともに半数に満たず、保留となった。

【結果】賛成38、保留12、反対5、棄権5 保留とされた。

## 第3回本会議

日時：令和7年6月11日(水) 18時30分  
出欠：出席53人

議題：『令和8年度の学園祭を開催に関する要請について』

令和8年度学園祭の開催予定日に関し、土浦全国花火競技大会との日程重複による交通混雑を回避するため、例年と異なる10月31日・11月1日での実施を大学へ要請する案が諮られた。審議の結果、承認された。

【結果】賛成49、保留2、反対0、棄権2 賛成多数で可決された。

## 第1回意見聴取会

日時：令和7年6月25日(水) 18時30分

『学園祭実行計画書追加提出分の承認に係る意見聴取』

学園祭実行計画書の追加提出分に関し、意見聴取を行った。前夜祭の終了時刻を20時30分以降へ延長する変更点について、ステージ企画のタイムテーブルに起因する不可避的な措置である旨の説明を受け、その妥当性および運営への影響について質疑を交わした。

## 第4回本会議

日時：令和7年7月2日(水) 18時30分  
出欠：出席51人

### 議題1：『令和7年度学園祭開催に関して』

第51回雙峰祭の実施に向けた実行計画書、1次予算案、企画リスト等の承認が諮られた。運営方針や予算規模について審議が行われ、賛成多数により承認された。

【結果】賛成46、保留0、反対0、棄権5 賛成多数で可決された。

### 議題2：『令和6年度全代会決算に関して』

前年度の決算案および会計監査報告書の承認が諮られた。資産状況や収支の内訳について説明が行われ、監察役による監査結果に問題がないことが確認された。

【結果】賛成49、保留0、反対0、棄権2 賛成多数で可決された。

### 議題3：『令和7年度全代会予算に関して』

今年度の収支予算案が審議された。他大学との交流に要する接待交際費や研修会費の計上理由について質疑が行われ、賛成多数により承認された。

【結果】賛成48、保留1、反対0、棄権1 賛成多数で可決された。

## 第2回意見聴取会

日時：令和7年9月10日(水) 18時30分

『学園祭実行計画書に係る意見聴取』

学園祭実行計画書につき、広範な意見聴取を実施した。共同利用棟および第一・第二エリアの教室配置の妥当性、音響・照明等の外注費算出根拠、備品調達合理性、学内無線LANの安定性確保策、並びに深夜帯における年少来場者への対応方針等、多岐にわたる項目について実行委員会への質疑応答を行った。

## 第5回本会議

日時：令和7年9月17日(水) 18時30分  
出欠：出席41人

### 議題：『令和7年度学園祭に関して』

雙峰祭実行計画書の追加提出分として、2次予算案や追加企画リスト、看板設置場所等、及び、アーティスト企画の拡大に伴う謝礼費の増額とチケット代による補填について質疑が行われ、承認された。

【結果】賛成40、保留0、反対0、棄権1 賛成多数で可決された。

## 第6回本会議

日時：令和7年10月15日(水) 18時40分  
出欠：出席46人

議題：『学際サイエンス・デザイン専門学群特別委員会設立について』

マレーシア校の学生が筑波キャンパスの運営体制を理解し、将来的な全代会企画に向けた基盤を築くための特別委員会設置が提案された。定期的な情報共有やオンライン討論会の開催を目的とし、試行期間を1年として承認された。

【結果】賛成42、保留2、反対2、棄権0 賛成多数で可決された。

## 第7回本会議

日時：令和7年12月10日(水) 18時30分  
出欠：出席43人

議題：『全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議について』の改正の要請』

資金の適切な管理を目的としたゆうちょ銀行口座の新規開設にあたり、内規に団体の名称および所在地を明記するための改正が諮られた。資金を従来の金庫管理から銀行管理へと移行する妥当性が説明され、承認された。

【結果】賛成40、保留0、反対0、棄権3 賛成多数で可決された。

### 第8回本会議

日時：令和8年1月7日（水）18時30分  
出欠：出席50人

議題：『令和8年度4月1日実施の寄宿料等値上げに関する対応における要望への承認の要請』

令和8年4月の寄宿料値上げに対し、学生との合意形成、時期の1年間の延期、経済的支援策の提示を求める要望書が審議された。審議では、大学側の赤字試算の妥当性や急激な負担増への懸念、過去の改定手続きとの相違が議論された。

【結果】賛成45、保留2、反対1、棄権2 賛成多数で可決された。

### 第3回意見聴取会

日時：令和8年1月14日（水）18時30分

『第51回雙峰祭決算報告及び事業評価に係る意見聴取』

第51回雙峰祭の決算及び事業報告について審議された。主要議題として、アーティスト招致企画の収支不振要因や、資料記載の不備、興行中止保険未契約の妥当性について質疑が集中した。また、一般企画の選考導入を巡っては、学園祭の教育的側面と学生の平等性の観点から議論が交わされたが、実委側は現状の門戸開放を重視する方針を説明した。本会議に向け、資料の再確認と修正が期せられた。

### 第9回本会議

日時：令和8年1月21日（水）18時33分  
出欠：出席44名

議題：『令和7年度筑波大学学園祭総括報告書の承認について』

令和7年度に実施された第51回筑波大学学園祭「雙峰祭」の総括報告書、決算報告書、および目的の評価について、学内行事委員会より説明がなされた。学園祭実行委員会規定に基づき、各資料の承認の是非を審議した。

【結果】賛成42、保留2、反対0、棄権0 賛成多数で可決された。

### 学長と全代会構成員との茶話会

日時：令和7年6月26日（水）18時30分

本件茶話会には、各委員長をはじめとする全代会構成員、学生組織代表者らのほか、本学より学長、副学長および関係職員が参集した。また、本年度よりマレーシア校所在の学生も、Web会議ツールを用い遠隔で参加した。本件茶話会においては、全代会より、新設寄宿舎の管理運営体制等のソフト面に関する事項、および定期試験の廃止に伴う今後の成績評価方法の在り方に関する事項が議案として提出され、大学側が講ずる施策の企図について相互の理解を深めた。情報の公開については、情報保全の観点から制限が存する場合があるものの、可能な限りこれを共有する方針であることが確認された。

### 副学長等と全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議構成員との懇談会

日時：令和7年12月3日（水）18時30分

学生側より組織運営の基盤強化に関する報告がなされた後、三つの主要議題が提起された。一、総合学域群の移行システムに関し、単位認定の柔軟化や成績評価の不均衡是正の要望。二、教職履修カルテの負担軽減に向けた完全電子化の要望。三、実地調査に基づき駐輪場の混雑解消やマナー改善に向けた具体的対策の具申。大学側からは各課題への検討状況が示されるとともに、新施設名称の公募協力依頼がなされるなど、教育・生活環境の向上に向けた建設的な意見交換が展開された。

### 編集後記

新入生の皆様、ご入学誠におめでとうございます。今年度、全代会広報委員長を務めます近藤哲弘です。

皆様はこれから、大学生活の中で様々な出会いや学びを経験されることと思います。私にとって、その中でも最も大きな出会いとなったのが、この広報委員会でした。昨年度の委員会を一言で表すなら、「温かく明るい」という言葉がぴったりです。仲間

の存在に、沈んでいた心も自然と前向きになれる。そんな素敵な場所でした。今年度も、そのような委員会を築いていきたいと考えています。

さて、今号の『Campus 235号』は、私にとって初めて制作に携わった冊子です。学長インタビューをはじめ、皆様に役立つ興味深い内容を詰め込むことができたと思います。これもひとえに、広報委員会の委員の仲間や制作にご協力いただいた全ての皆様のおかげです。この場を借りて、深く感謝申し上げます。

最後になりますが、本誌を読んで全代会や広報委員会に少しでも興味を持っていただけただけなら、ぜひ説明会等に足を運んでみてください。皆様とお会いできることを、心より楽しみにしています。

(近藤哲弘)



全代会の広報誌  
No. 235 Apr. 2026  
2026年4月1日発行

編集長 近藤 哲弘  
発行人 吉川 栞  
表紙デザイン 長谷川みさき  
編集委員 吉川 栞 長谷川みさき 山下 海音  
石井 七菜 近藤 哲弘 廣田 千恵  
榎本 陽子 井口 歩佳 亀山 寧々  
大崎 遥希

発行 全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議  
広報委員会  
<https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/>  
(publicity@zdk.tsukuba.ac.jp)

